

JFE ENGINEERING | CORPORATE INFORMATION



くらしの礎^{もと}を 「創る」「担う」「つなぐ」

人々の豊かで快適な生活をささえていくために。

この地球の恵みを守り、未来へとつなげていくために。

私たちJFEエンジニアリングは、

永年培ったものづくりのノウハウを活かし、

各種インフラの設計・建設からメンテナンス・事業運営に至るまで、

グローバルエンジニアリング企業として、

さまざまなニーズにフィットする理想のカタチを実現します。

くらしの礎を「創り」、「担い」、未来へ「つなぐ」。

我々の事業活動がSDGs そのものであるという信念のもと、

最適解へのチャレンジをつづけます。



リサイクル

プラスチックや食品など
さまざまな廃棄物を
資源に変え、
循環型社会づくりに貢献。

パイプライン

天然ガスなどのエネルギー源を
大量・安全に
長距離輸送するシステムを
建設、管理。

発電・電力

クリーンエネルギーをつくり、
地域の暮らしへ。
エネルギー利用の
最適化提案により、
省エネを推進。

エネルギー プラント

LNG(液化天然ガス)や
石油などの資源を受け入れ、
貯蔵し、製品に変えて
供給する設備を構築。

ニーズのあるところ、
すべてが事業フィールドになる





都市環境

安心・安全なごみ処理技術で
街の衛生を保ち、
発生するエネルギーも
無駄なく回収。

橋梁・鉄構

橋梁や港湾施設・防波堤など
街をつなぎ、まもる
インフラを整備。

産業/機械 システム

産業や生活をささえる
クレーンや駐輪場などの
機械設備、物流システムを
開発・提供。

新規事業

培ってきた
技術・ノウハウを応用し、
食料生産プラントや医療などの
新たな事業領域へ展開。

上下水道

重要なライフラインである
上下水道の整備、運営を
トータルマネジメント。



2019年1月に運転を開始した岩手県・松尾八幡平地熱発電所

地球環境をまもる

世界は持続可能な社会の実現に向けた目標を定め、動きはじめています。

JFEエンジニアリングは、太陽光・バイオマスなど再生可能エネルギー発電所を多数建設し、これら発電施設の自社運営による電力事業も拡大。

また、プラスチックや食品廃棄物を含む幅広いリサイクル事業や、新興国での上下水処理施設をはじめとする質の高いインフラ整備を通じ、

資源循環型社会の形成を後押し。一つひとつが未来をひらく、との思いで取り組みます。



詳しい情報は
WEBサイトへ



低炭素社会の実現に貢献する
福岡県・豊前バイオマス発電所



食品廃棄物をバイオガス発電により電気にリサイクルする
神奈川県・(株)Jバイオフードリサイクル 横浜工場



マニラ湾の水質改善に貢献する
フィリピン・パリアニャーケ下水処理施設



コンパクト設計で環境にやさしい東京都・練馬清掃工場

住みやすい街に

だれもが気持ちよく生活できるように。便利さと、環境への配慮を両立できるように。

JFEエンジニアリングは、さまざまなごみや上下水を安心・安全に処理するインフラを整備し、さらに運営を担うことで、街を衛生的に保ち、住みやすい街づくりをささえています。

快適なエコライフを実現する駐輪システムなど、身近な生活環境の向上にも貢献しています。



詳しい情報は
WEBサイトへ



経済成長に伴うごみの増加と電力不足の課題を解消する
ミャンマー初の廃棄物発電プラント



下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみを資源とする
複合バイオマスエネルギー化施設
愛知県・豊橋市バイオマス利活用センター（PFI事業）



省スペースで、全自動の機械式駐輪場
神奈川県・相模大野駅西側サイクルツリー



東北復興のシンボル、宮城県・気仙沼大島大橋

国をささえる

経済、産業、エネルギー、生活。社会の活動を日々つなぎ、流れをスムーズに。

JFEエンジニアリングは、LNG導入のパイオニアとして携わってきたエネルギープラントをはじめ、橋梁や港湾施設などを一括で整備するとともに、メンテナンスから運営までトータルにささえています。

時代は進化し、ニーズはますます多様化・複雑化。そこに最適解を届けられるよう、進んでいきます。



詳しい情報は
WEBサイトへ



名古屋港を海底シールドトンネルで横断し、最新鋭の火力発電所に天然ガスを供給するパイプライン



北陸のエネルギー進化を支える
富山県・富山新港LNG基地



全国の港湾における荷役作業の強化に貢献する
コンテナクレーン



次世代の遠隔監視拠点「グローバルリモートセンター」

安心・安全なくらしを

災害時でも、ライフラインをまもり、

JFEエンジニアリングが世界各国で稼働させているプラントを止めないように。

AIなどの最先端技術を駆使して常に見守るシステムを構築するとともに、

地方自治体やグループ各社と一体となって、防災・減災に努めます。



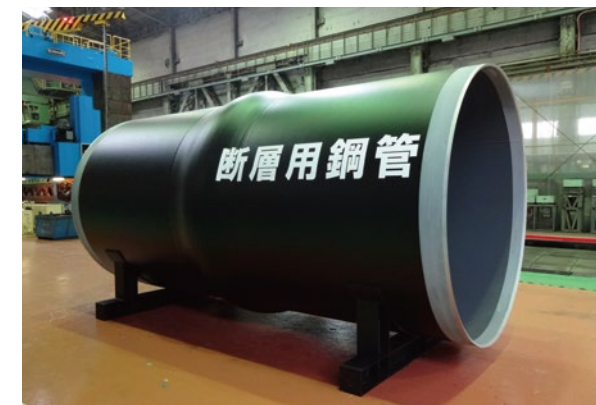
詳しい情報は
WEBサイトへ



熊本市と推進する地域新電力が主体となり、
災害時でも安定した電力を周辺地域へ供給する
熊本市・西部環境工場



地域の悲願である「安心」に貢献する
宮城県・気仙沼港のハイブリッド防潮堤



地震の際に活断層から水道を守る断層用鋼管

新たな分野へ



詳しい情報は
WEBサイトへ
(新事業)



詳しい情報は
WEBサイトへ
(研究・開発)



[新事業： エネルギーサービス]

豊富な発電設備の建設・維持管理の実績と電力小売事業のノウハウを組み合わせることで、最適なエネルギー供給サービスを実現。環境負荷低減とコスト削減の両立を目指すお客様に幅広くサービスを提供していきます。



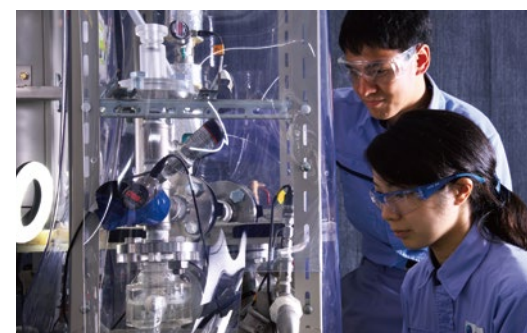
[新事業：メディカル]

これまで磨いてきた放射線技術を応用し、多くの実績を保有するがん診断システム。2017年に新設した研究施設で、この技術を発展させ、メディカル・ヘルスケア分野の拡大をはかっていきます。



[新事業：スマートアグリ]

環境・エネルギー分野の技術を応用し、農業プラントビジネスへ。多様なエネルギー源から栽培に必要な熱やCO₂、電気をつくり、最適な生育環境を実現するスマートアグリシステム。これを皮切りに、国内外で食のインフラ整備を展開しています。



[研究・開発]

次世代エネルギーや環境課題の解決など、新技術・新価値の創出に向けた研究開発を行なっています。世界の技術動向や市場ニーズも踏まえつつ、さまざまな分野での革新に挑んでいます。

沿革

JFEエンジニアリングの源流は、NKKと川崎製鉄によって培われた製鉄・造船技術にあります。このふたつの技術とノウハウを融合させ、「くらしの礎を創る」ちからを今日まで磨きあげてきました。さらに、時代のニーズに応じて事業運営をはじめとする「くらしの礎を担う」ちからを強化。両輪で社会の発展をささえ、未来へ「くらしの礎をつなぎます」。



浅野造船所1号船「白鹿丸」
(1919)

日本鋼管と
鶴見製鉄造船が合併
後に呼称をNKKに統一

横浜造船所設立
その後、浅野造船所、
鶴見製鉄造船へ改称

1916

1940

川崎重工より分離し、
川崎製鉄設立

1950

川崎製鉄とNKKが経営統合し
JFEホールディングス設立
NKKの造船部門が分離し、
ユニバーサル造船発足
(現 ジャパン マリン ユナイテッド)

2002

JFEエンジニアリング
発足

2003

スタンダードケッセル・
バウムガルテ
(環境プラント/ドイツ)を
子会社化、
磯村豊水機工(上水設備)を
統合



東京臨海エコクリーン
(2019)

東京電力グループの
東京臨海リサイクルパワーを統合し
J&T環境が発足

2014

2019

三井E&Sグループの
化学プラント部門を
子会社化し
JFEプロジェクトワンが発足

2020

三井E&Sグループの
環境系プラント部門を
子会社化し
JFE環境テクノロジーが発足

2021

1912

日本鋼管設立



ケニアパイプライン
(1978)



スカイパーク竣工
(2010)

JFE エンジニアリング 株式会社